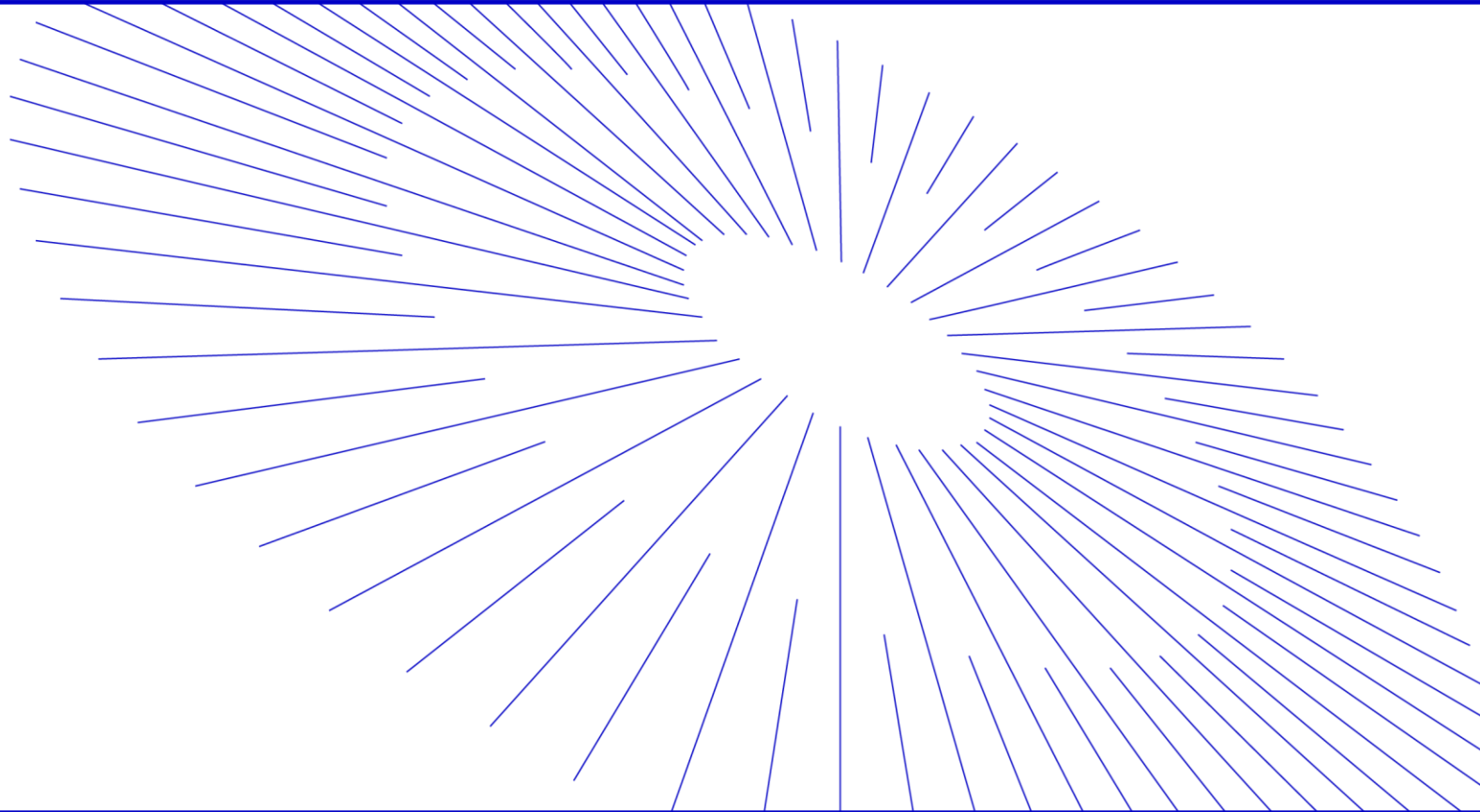


Smart Construction Quick3D – プラスAR (簡易版) ご利用手順



EARTHBRAIN

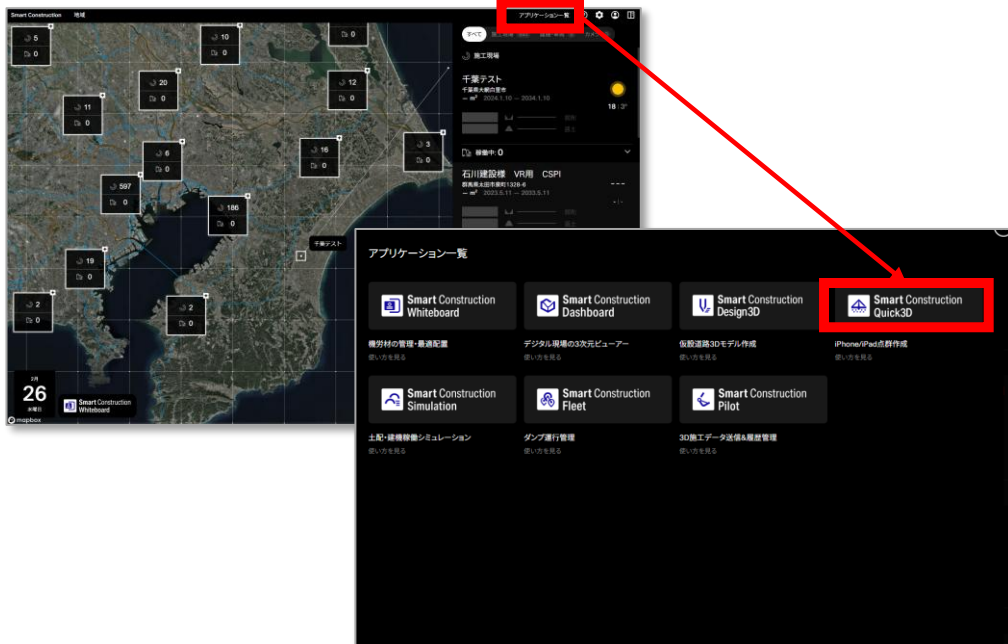
- ★事前準備：1. 「Smart Construction Quick3D - プラスAR」のライセンスを購入する。
 2. ご利用するiPhone/iPadにSmart Construction Quick 3DアプリおよびPix4Dcatchをインストールし、Smart Constructionアカウントでログインする。
 3. 「viDoc RTK Rover」を準備し、ご利用するiPhone/iPadに取り付け初期設定を完了しておく。

1.Web版 Smart Construction Quick3Dを起動する 2-1. お手持ちの点群ファイル、設計ファイルをAR表示する場合

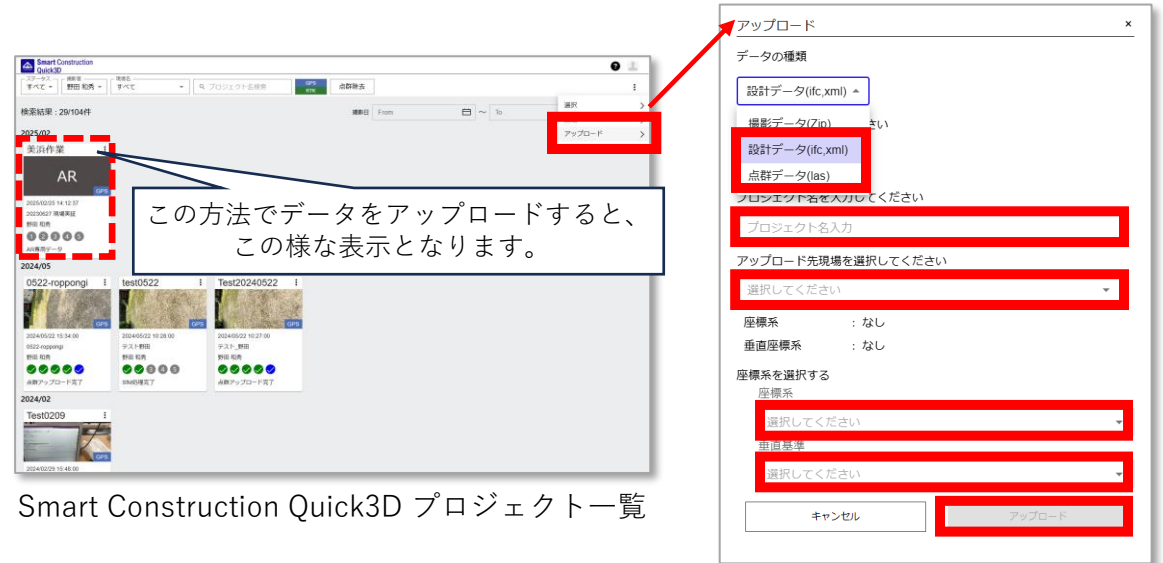
WebブラウザからSmart Construction®ホームにアクセスし、アプリケーション一覧から「Smart Construction Quick3D」を起動する。

Smart Construction Quick3Dのプロジェクト一覧右上にある「:」からアップロードを選択し、アップロード画面に必要事項を入力後、表示用データ※をアップロードする。

Smart Constructionホーム アプリケーション一覧



アプリケーション一覧画面



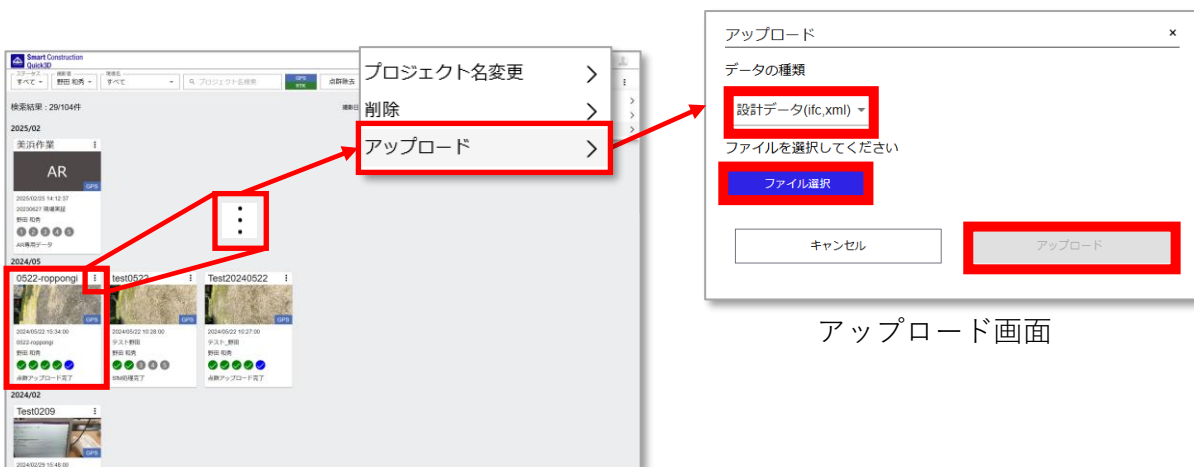
Smart Construction Quick3D プロジェクト一覧

※表示用データに関して
 点群データは「LAS形式」、
 設計データは「IFC形式」「LandXML形式」
 に対応しています。

アップロード画面

2-2. 点群(SfM処理後)上に設計データをAR表示する場合

- Smart Construction Quick3Dのプロジェクト一覧から、任意のプロジェクトの右上にある「:」からアップロードを選択し、アップロード画面で設計データ※をアップロードする。



Smart Construction Quick3D プロジェクト一覧

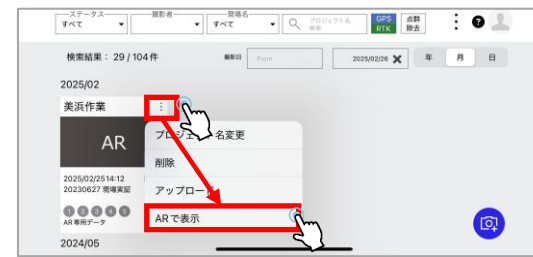
※設計データは「IFC形式」「LandXML形式」に対応しています。

3. iPhone/iPadでAR表示する

- ①: iPhone/iPadで「Smart Construction Quick3D」アプリを起動する。



- ②: プロジェクトの右上にある「:」ボタンから「ARで表示」を選択する。



- ③: 撮影画面に移行し注意事項が表示されるのでOKを押す。画面上方のメニューから「Bluetooth接続のRTK」を選択し、事前に設定した「viDoc RTK Rover」を接続する。撮影対象にiPhone/iPadカメラを向けると、表示用データがAR表示される。



※「ARで表示」を押下し、viDoc RTK Roverに接続直後は点群/設計データは目の前に表示されますが、FIX後に撮影対象の周辺を歩くことでAR表示位置が本来あるべき位置で表示されます。

4. AR表示中の画面操作



5. 表示用データの削除

表示用データを削除したい場合は、Smart Construction Quic3Dのプロジェクト一覧から目的のプロジェクトを選択し、表示される詳細情報画面から削除ボタンを押下する。

